

2020年2月4日

カトリック那覇教区  
司祭・助祭・修道者・信徒ご一同様

カトリック那覇教区司教  
ウェイン・バーント

## 新型コロナウイルス予防ガイドラインについて

### ✠ちむがなさ

暖冬と思いきや一気に冷え込むこともあり体調管理に苦慮するこの時期、いかがお過ごしでしょうか？

さて、年末に発生し世界各地に感染が広がりつつある、新型コロナウイルスによる新型コロナウイルス感染拡大の可能性が懸念されております。

しかしながら、未知のものとは言え、不安や恐れのみに基づく行動は、パニックや過剰防衛等による他者の尊厳を傷つける行動に結びつきやすいことから冷静に対応することが重要であります。

とはいえ感染拡大には適切な対応が必要ですので、元国立病院機構沖縄病院院長の石川清司先生のご指導に基づく下記の予防措置を小教区や修道院等のミサや集会祭儀に応用して講じてくださるようお願いいたします。

### 記

#### 1) 基本姿勢－（感染の可能性を出来るだけ減少させる行動）

- ・ 司祭・助祭・聖体奉仕者の手洗いの徹底
- ・ 発熱など体調不良有症者の自宅静養の呼びかけ（ミサ参加義務免除）  
「自分と他者のいのちを尊ぶ行動として  
外出を控える勇気を持ちましょう」
- ・ マスク着用などの咳エチケットの励行
- ・ ミサ中の握手、抱擁等の自粛呼びかけ
- ・ 御聖体を口で受けないこと、  
御血を同じカリスから複数人で拝領しないこと
- ・ 集会前後のうがい手洗いの励行

2) 施設関連対策一（教会内で共用する備品等が感染を媒介する恐れがあるため）

- ・ 聖堂出入り口の聖水盤が接触の機会となりえるため、使用を控える
- ・ 手が触れる場所、手すり・ドアノブ・トイレなどの清拭（ハイター希釈液などで）
- ・ 可能ならば聖歌集等は消毒するか、使用を控える。（日光消毒で乾いた状態に）
- ・ 聖堂の換気を図る（インフルエンザ対策を含めて）

※重要なことは、感染経路が

1. 飛沫 2. 手指を介して 3. 器物を介して、  
ということを十分認識し、これを出来るだけ断つということを  
冷静かつ穏やかに愛をもって実践するという一点に絞られます。

以上